長野県住生活基本計画(案)

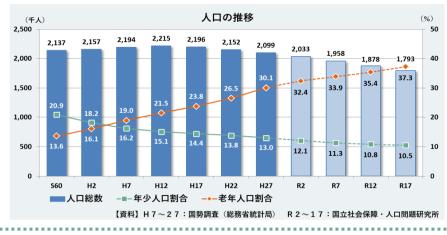
住まいを取り巻く環境の変化

各種統計・推計にみる推移や将来見通し、SDGs・ポストコロナを見据えた展望を踏まえ、 長野県の住まいを取り巻く環境の変化(社会環境の変化、自然環境の変化、住生活を 取り巻く潮流)について整理します。

社会環境の変化

【人口減少と少子高齢化の進展】

- ●長野県の人口は今後も減少が続き、総人口に占める年少人口の割合は減少 するとともに、老年人口の割合は引き続き増加する見通しです。
- ●人口減少と少子高齢化に対応し、高齢者が健康で安心できる暮らしや、多 世代が支えあえる地域づくり等の取組を推進していく必要があります。



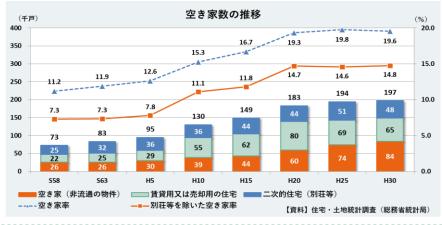
【世帯の小規模化など家族のあり様の変化】

- ●長野県の世帯数に占める単独世帯が著しく増加する一方、夫婦と子からな る世帯の割合は将来にわたって減少が続く見通しです。
- ●家族のあり様の大きな変化を踏まえ、ライフステージに応じた住まいの選 択や、住宅セーフティネットの確保等が可能となるよう取組を推進していく 必要があります。



【空き家増加に象徴される住宅管理不全の恐れ】

- ●人口減少や少子高齢化、家族のあり様の変化等に伴い、長野県ではこの10年 で対策が必要な空き家が急激に増加し、地域の空洞化や活力低下を招いていま す。
- ●住まいの適切な維持管理や、移住・定住促進につながる空き家の活用、既存 住宅の流通・リフォーム市場の拡大等の取組を推進していく必要があります。



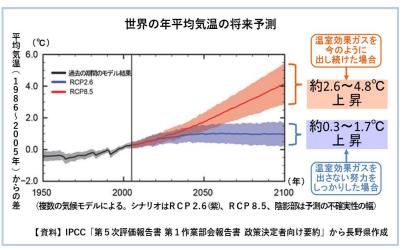
自然環境の変化

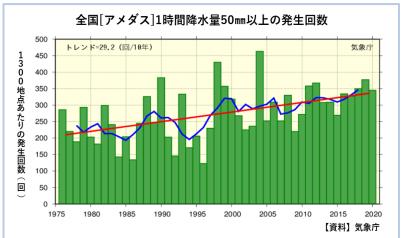
【気候変動と自然災害 の激甚化】

●世界の年平均気温は長 期にわたって上昇が続く ものと予測され、地球温 暖化に起因する自然災害 の激甚化・頻発化が深刻 になっています。

【長野県の脱炭素化の 取組】

- ●長野県では、2019年 12月に都道府県として初 めて「気候非常事態官 言」を行い、2050年度ま でに二酸化炭素排出量を 実質ゼロにすることを決 意しました。
- 家庭部門における二酸 化炭素排出量の削減を図 るため、住宅の省エネル ギー性能向上のための取 組を加速していく必要が あります。





住生活を取り巻く潮流

【ポストコロナを見据えた潮流への対応】

●SDGsやポストコロナを見据えた新たな住まい方を展望し、信州らしさを活かしたライフスタイル が可能となるようイノベーションの動向をとらえた住生活を創造していく必要があります。

《信州らしさとしての強み・弱み等》※SWOT

《政府によるSDGs推進の取組》 我が国の ●ダイバーシティ、ジェンダー平等の実現 ●健康寿命の延伸●イノベーション(Society5.0) SDGsの論点 ●持続可能で強靭な国土 ●気候変動対策 内閣官房SDGs推進本部 ●地方創生の推進(東京一極集中の是正) 《学びと自治の力による自立・分散型社会の形成》 ●誰もが学べる環境づくり 長野県SDGs ●地域内経済循環の促進 ●快適な健康長寿のまち・むらづくり 未来都市計画 ●豊富な自然エネルギー資源を活かしたエネル ギー自立・分散型モデル地域の形成

健康寿命の長さ、高齢者就業率日本 地域プランド魅力度ランキング上位

・日照時間の長さ等恵まれた気候条件 ・企業の研究所立地全国トップクラス 三世代世帯の多さ

・リサイクル意識の高さ

弱み Weakness

・空き家等余剰ストックの多さ

・寒暖差の大きさなど厳しい気候条件

土砂危険個所、孤立可能性集落の多さ 若い女性比率の相対的少なさ

インターネット利用率の低さ (デジタル化の遅れが社会的リスクに)

強み Strength Opportunity

大都市圏からのアクセシビリティ

(時間距離短縮、二拠点居住にも好機) ポストコロナのライフスタイル

(リモート社会、スマートな繋がり) 長野県DX戦略、信州ITバレー構想

・ダウンシフトのライフスタイル普及 脅威 Threat

出生率の更なる低下、人口減少社会 労働力不足 (高齢者、女性への期待) エネルギー消費コストによる経済圧迫

地球温暖化に起因する国土の脆弱化 (気候非常事態宣言の動機) 自然災害による人命喪失と経済損失

新たな潮流をふまえた

住生活の普及が課題

地域ブランドとアクセシビリテ を重視した住まい方の普及

信州固有の景観や文化財を 活かした住生活の推進

※SWOTは、戦略分析に用いるフレームワークのひとつで、内部環境や外部環境に ついて要因分析を行い、その掛け合わせにより戦略を策定する手法。

信州らしさを活かし多様なライフスタイルを可能とする住生活

《ポストコロナ時代における住生活の潮流》

感染症リスクを低減するスマートなつながり拡大

●リモートアクセス、スマートコネクトが普及し、住生活におい て感染症リスクを低減する新たなつながり方が広がりをみせる。 (ヘルスケア、見守り、子育て・教育、セキュリティ等)

デジタル環境を高めたライフスタイルへの転換

- ●大都市圏における過密リスクの低減と、地方創生に資する社会 経済的な変化が段階的に進む。(地方移住、二拠点居住など)
- ●育児・介護等と両立するワークスタイルの導入が進む。(ワー クライフバランスを確保したリモートワークの試み等)

非接触型のライフスタイルを可能とするイノベーション

- ●非接触型の技術革新が健康長寿社会や国土強靭化等を支援する。 (Society5.0時代の技術革新)
- ・IoT技術により人とモノ・情報がつながり新たな価値を創造 ・AI技術により人手不足や生産性向上など社会課題を解決

住生活を通じた健康生活と ゼロカーボンの実現が課題

住生活に困窮する方の

長期的視点に立った既存ストック

既存ストックを活用した新たな

地域資源と先端技術を活かした

住産業・経済循環の促進

スマートで持続可能な住生活 コミュニティの創造が課題

【資料】国勢調査、内閣府資料、総務省資料等を参考として長野県作成

自然・社会環境等の変化に対応した住まい方の提案

長野県では、豊かな自然や美しい景観、地域の歴史や文化に根差したこれからの時代にふさわしい、信州の 多様な住まい方を探るため、「しあわせ信州"住まい方"ビジョン2030」を定めました。

安全な住まい

このビジョンを踏まえ、本計画では社会環境、自然環境等の変化に対応した住まい方を提案します。



人や地域とのつながりが幸せ ・地域や社会に必要とされている幸せ

五感で感じる心地よさ

居心地のいい信州

居心地・心地よさ

豊かさ・しあわせの パラダイムシフト

ひらく・つながる

- ・地域にひらく住まい方
- 想いがつながる新しいコミュニティ像
- ・多様なコミュニティの重なる場づくり

住みこなす

つながりささえあう暮らし

- ・ライフスタイルの多様化に対応
- 世帯やライフステージの変化に対応 ・働き方の多様化に対応

信州らしさ (信州の強み)

環境や健康にやさしく

Ⅱ 多様な変化やニーズに

対応した住まいの選択

Ⅲ 地域や社会にひらかれ

他地域との二地域居住

・ゼロカーボン・信州版ゼロ エネルギー住宅

住まい方の提案(Ⅱ)

多様性をもって住みこなすこと

住み替え等で生活がより豊かに

連携・協働

住まい方の提案 (Ⅲ) 地域にひらき、地域につながること

|| 住みこなし

多様な変化やニーズに対応した住まいの選択



家族の変化やニーズに応じた

住まいが、住むだけでなく 働く、学ぶなど多様な機能を発揮



●シェアハウス

多世代同居等の実現

・子育て世帯との同居・近居

・多世代同居に適した居住水準

・職住・職育が近接した住生活

●若年世帯の住替え住宅



●老人ホーム、サービス 付き高齢者向け住宅など

安心居住の実現

- ・住戸内のバリアフリー化
- ・スロープ、エレベーター設置
- ・地域での見守りの充実

ネットの充実



シェアハウス・コワーキングスペース

(多様なワークスタイルへの対応)

ライフスタイルやライフステージに応じて柔軟に住みこなします

安心して住宅ストックの取引ができる環境の整備

・リフォーム事業者

エネルギー事業者

住宅設備機器事業者

・セキュリティ事業者

住宅ストックの有効活用と住まい方の多様な選択

· 不動産重業者

・地域工務店

(高齢者向け住宅改善)

(空き家の利活用)



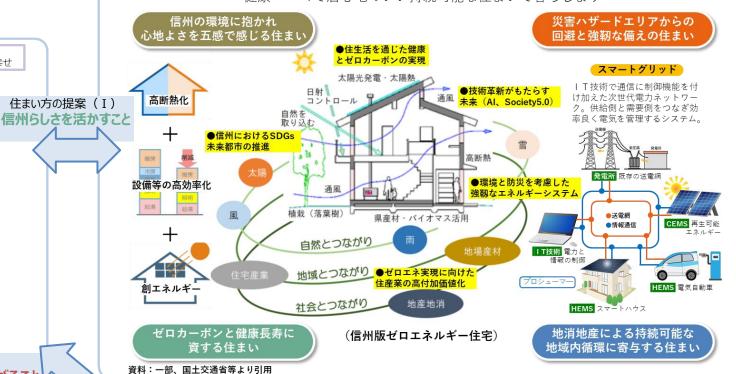
都市の利便性と自然の豊かさを 享受するハイブリッドな生活を実現

多様な世帯が地域で共生できる 住まいの多様性

住まいの姿

環境や健康にやさしく安全な住まい

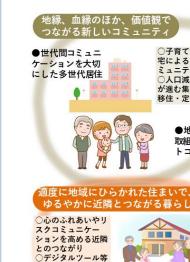
健康・エコで居心地のいい持続可能な住まいで暮らします



Ⅲ コミュニティ

地域や社会にひらかれつながりささえあう暮らし

多くの居場所があり、人や地域との交流で、豊かに暮らします



を活用したスマート

●スマートで強靱な

安全・安心コミュニ

なつながり

○子育て世代向け住 宅によるミクストコ ミュニティの推進 ○人口減少や高齢化 が進む集落地域への 移住・定住促進

|

●地域・集落再生の 取組を通じたミクス トコミュニテ

●まちなか居住の推進と コンパクトなまちづくり



形成に寄与するまち なか居住 ○生活支援サービス のワンストップ化

●地域における多世代・ 新たな人材の交流拠点

機能が集約された。 多世代に優しい生活拠点

スマートで持続可能な 住生活コミュニティの創造

●集落地域の安心や 利便を高める小さな 拠点づくり

○地域とつながるイベント やミーティング、交流活動 ODX (デジタル・トラン スフォーメーション) によ るリモートアクセス、ス マートコネクト



コミュニティハブや情報で 地域とつながる地域社会 孤独・孤立への対策

○民間賃貸住宅と連携した の支援(住字セーフ ティーネット) 住宅セーフティーネット ○公営住宅等を活用したグ ループホーム ○ AI、IoT、センシング技 術による見守りなど住宅の スマート化

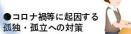
○地域交流施設(コ

ミュニティカフェ等)

イサービス等)

●住宅確保要配慮者

○高齢者支援施設(デ





自宅と仕事場以外の

自分の居場所を確保

●信州の魅力を継承する

地域資源を活かした居場

家族機能を補完し 希望に溢れた共生社会

所づくり

新たな潮流をふまえた住生活の普及促進

など

・気候風土に合った二地域居住、二段階移住

・移住者が行うリフォーム・リノベーション ・コロナ禍等を踏まえた転職なき移住(リモー

トワーク、AI、IoT等による住宅スマート化)

資料:一部、国土交通省等より引用

・老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅

・民間賃貸住宅と連携した住宅セーフティ

3

住生活の理念・目標と住宅施策の展開

本計画では、「しあわせ信州"住まい方"ビジョン2030」を踏まえ、住生活の理念と目標を 定めるとともに、以下の一覧に示す通り、住宅施策を総合的かつ計画的に推進します。

住生活の理念と視点	住生活の目標	基本的な施策	住宅施策の展開(主要な施策)	目標達成指標(主要な指標)	実 績	目標
【基本理念】 「育まれた資源を次持に住み継ぎ、持生社会をめざして」 ~い方"で実現~ 【基本の世代にはかせらう。の実現~ 「本本のででまます。 「本本のででは、一、「本本のででは、一、「ないのででは、一、「ないのででは、一、「ないのででは、一、「ないのででは、一、「ないのででは、一、「ないのででは、一、「ないのででは、一、「ないのででは、一、「ないのででは、一、「ないのででは、一、「ないのででは、一、「ないのででは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、」」、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、」」、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、」は、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、」」は、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、このでは、「ないのでは、このでは、「ないのでは、このでは、「ないのでは、このでは、「ないのでは、このでは、このでは、「ないのでは、このでは、「ないのでは、このでは、このでは、このでは、「ないのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	1 脱炭素社会に向け環 境や健康にやさしく安 全な住まいづくり	1-1 脱炭素の住まいづくり	●住まいの省エネルギー対策の普及・高性能化●自給自足を実現する再生可能エネルギーの導入促進●信州の気候風土を活かした建築計画の促進 など	●新築住宅のうち Z E H基準の省エネ性能 を有する住宅の割合	_ (R2)	100% (R12)
		1-2 地消地産の住まいづくり	●良質な木造住宅の建設促進●県産木材等の利用促進 など	●新築住宅(木造在来工法)の県産木材使 用率	23.1% (H27-R1平均)	30% (R6-11平均)
		1-3 健康長寿の住まいづくり	●断熱性能等を備えた住まいづくりの普及促進 ●快適で健康な居住空間の確保 など	●ヒートショックの発生抑制に資する一定 の断熱性能を有する住宅ストックの割合	55.7% (H30)	75% (R12)
	住まいの姿	1-4 自然災害に備えた住生活の強靭化	耐震化の促進レジリエンス性(災害に対する強靭性)を備えた住まいの普及促進建築規制の的確な運用と適切な維持保全の指導、啓発 など	●住宅の耐震化率	82.5% (H30)	92% (R7)
	2 多様な変化やニーズ に応じた住まいの選択 住みこなし	2-1 移住・二地域居住の推進	●信州の豊かな自然を満喫できる二地域居住の促進●移住者が行う住宅リフォームの支援等●既存住宅を活用した新たな住み手・働き手の誘致 など	●移住・定住促進の取組を記載した空家等対 策計画を策定した市町村の割合	66.2% (R2)	80% (R12)
		2-2 ライフステージに応じた住まいの選択	●子育て世帯のための住まい等の確保●三世代同居・近居の普及●職住・職育が近接する環境の確保 など	●民間賃貸住宅のうち、遮音対策が講じられ、一定の断熱性能を有する住宅の割合	11.3% (H30)	20% (R12)
		2-3 住まいの適切な維持管理と空き家の活用	●既存住宅の維持管理と品質・魅力の向上●急増する空き家の活用・除却の促進 など	●市町村の取組により除却等がなされた管理不全空き家数	1,177物件 (H27-R2)	2,500物件 (R3-12)
		2-4 既存住宅の流通・リフォーム市場の拡大	●既存住宅の性能向上とリフォームの促進●安心して既存住宅の取引ができる環境の整備●まちなかにある良質な空き家の有効利用 など	●既存住宅流通シェア	13.2% (H30)	20% (R12)
	3 ひらかれ、つながり、さ さえあう暮らしの実現 コミュニティ	3-1 高齢者が健康で安心して生活できる暮らしの実現 《長野県高齢者居住安定確保計画》	●バリアフリーに配慮した生活空間の確保●民間賃貸住宅と連携した住宅セーフティネットの充実●老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅など多様な住まい方の支援 など	●高齢者の居住する住宅のバリアフリー化率	60.6% (H30)	70% (R12)
		3-2 多様な世代が支えあう暮らしの実現	●世代間コミュニケーションを大切にした多世代居住の促進●地域・集落再生の取組を通じたミクストコミュニティの形成●地域による単身高齢者等の見守り体制の構築 など	●子世帯と同居・近居している高齢者世帯 の割合	36.0% (H30)	40% (R12)
		3-3 信州の魅力を継承する暮らしの実現	●信州の魅力を高める景観の形成●信州の農ある暮らし・住まい方の普及促進●古民家再生など歴史的建造物の保存活用の促進●まちなか居住の推進とコンパクトなまちづくり など	●景観行政団体に移行した市町村の割合	31.2% (R2)	40% (R12)
	4 誰もが安心して暮らせ る住まいの提供	4-1 地域的・社会的ニーズに応じた公営住宅の運営	●公営住宅の的確な供給●公営住宅の計画的な建設、建替えと長寿命化の促進●公営住宅の福祉目的活用等の推進 など	●公営住宅の供給量 (新規整備戸数 + 入居募集戸数)	8,300戸 16,600戸	
		住宅確保要配慮者のための住宅セーフティネット 4-2 の充実《長野県賃貸住宅供給促進計画》	●セーフティネット登録住宅・登録事業者に関する取組●市町村居住支援協議会等を通じた居住支援の促進 など	●居住支援協議会を設立した市町村の人口 カバー率 ●住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供	0.2% (R2) 855戸	40% (R12) 10,000戸
		4-3 非常時における住まいの応急・復旧体制の強化	災害発生時の住まいの確保被災住宅の再建支援 など	給の目標戸数	(R2)	(R12)
	5 地域経済を支える住 生活関連産業の発展	脱炭素の住まいづくりを担う地域住宅産業の基盤 5-1 強化	●地域住宅産業の基盤強化●地域の住まいづくりの担い手確保・育成●建設キャリアアップシステムの普及促進 など	★告告本造在来工法の新築住宅(持ち家)の割合	75.6% (H28-R2平均)	75% 現状維持 (R7-R11平均)
		5-2 住生活産業の多角化・成長	●住宅ストックビジネスの活性化の促進 ●新たな住生活関連の産業の拡大 など	●リフォーム実施率(持ち家)	29.5% (H26-H30)	35% (R5-R10)
		5-3 先端技術を活かした住産業・経済循環の促進	●先端技術を活かした住生活の普及・促進先端技術を活かした住生活関連ビジネスの創出 など	●新築住宅のうちZEH基準の省エネ性能 を有する住宅の割合【再掲】	— (R2)	100% (R12)